

科目名	日本語日本文学入門	
担当者	嶋田 直哉 / ◎新内 康子 / 安本 真弓	
科目情報	人間文化<基礎> / 必修 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	A. (嶋田) 文学作品の読み方について概説する。中学校・高等学校国語教科書でなじみの深い作品の作家について再読を試みる。 B. (安本) 日本語の歴史、および言語の変化に関する問題を取り上げることで、日本語研究に関する基礎的事項を概説する。 C. (新内) 外国人が使用した日本語の誤用を通して、日本人が言語形成期に自然習得した現代日本語の諸規則を考える。
	到達目標	A. (嶋田) 論理的に文学作品を読むことができるようになる。 B. (安本) 日本語の歴史、および言語の変化に関する問題点に気付くことができ、その問題について考える姿勢を身につける。 C. (新内) ことばに対して興味関心が持て、現代日本語の諸規則について考える姿勢を身につける。
授業計画	(1) ガイダンス 日本近代文学史の概観 (2) 夏目漱石と森鷗外の生涯と作品について (3) 夏目漱石『坊っちゃん』を読む (4) 森鷗外『舞姫』を読む (5) 太宰治と井伏鱒二の生涯と作品について (6) 太宰治『走れメロス』を読む (7) 井伏鱒二『黒い雨』を読む (8) 漢字にめぐりあう (9) 文章をこころみる (10) うつりゆく古代語 (11) 近代語のいぶき (12) 言文一致をもとめる (13) 日本語の歴史と言語の変化 (14) 日本語教育の現状。外国人の誤用から考える日本語の諸規則① (15) 外国人の誤用から考える日本語の諸規則②	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】 A：初回の授業にて指示する。 B：山口仲美『日本語の歴史』岩波新書、2006年 ISBN4004310180 C：使用しない。プリントを配付する。 【参】 A、C：授業時に適宜指示する。	
成績評価方法と基準	<基準> A：文学作品を論理的に読むことができれば合格とする。 B：日本語の歴史、および言語の変化について理解を深め、その問題点を見出し、考える姿勢を身につける。 C：現代日本語への理解を深め、ある日本語現象の特徴を見出し、まとめることができれば合格とする。 <方法> A：レポート50%、受講態度50% B：テスト60%、レポート40% C：レポート60%、授業中課題40%	
備考	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> A,B,C すべての課題（レポート、テスト等）を行わなければ、評価の対象としない。 </div>	